



第12回 稲門建築会特別功労賞(業績) 伊勢崎賢治氏 (苗56) 東京外国語大学教授

表彰理由:

伊勢崎賢治氏は世界のさまざまな地理的環境に住まう人々の固有の文化を尊敬し、相互に理解し、感動と尊敬にあふれた地球社会を築くという吉阪イズムの体現者であります。ボンベイ大学に留学されたことをきっかけとして、インドでの活動やNGOでのアフリカの救貧活動を経て、日本政府の代表として国連の職員となり、「開発や環境計画」の世界から「平和の構築」の世界に入り、日本の平和貢献としても多くの活動を成し遂げてきました。東チモール(アジア)・シエラレオネ(アフリカ)での国連活動およびアフガニスタンで日本政府代表として行ったDDR(武装解除・動員解除・復員)活動は丸腰で日本人が行った活動として有名です。

合同クラス会や近畿支部でゲストスピーカーとして参加され、稲門建築会の活動にも貢献してきました。

このように平和な地域社会・文化を築き上げる世界的な活動は稲門建築会にとっての貢献も大なるものがあり、稲門建築会特別功労賞(業績)に推薦します。(推薦者:重村 力)

略歴

- ・1984 - インド国立ボンベイ大学大学院社会科学研究科博士前期課程修了
- ・1986 - 早稲田大学大学院理工学研究科都市計画専攻修了
- ・1999 ~2000 国際連合平和維持局ニューヨーク本部主催DDR特別運営委員会日本政府代表
- ・2000 ~2001 国連東ティモール暫定統治機構上級民政官
- ・2001 ~2002 国連シエラレオネ派遣団、国連事務総長副特別代表上級顧問兼部長
- ・2002 ~2006 立教大学21世紀社会デザイン研究科教授
- ・2003 ~2005 日本主導で行われたアフガニスタンDDRを指揮
- ・2006 ~現在 東京外国語大学地域文化研究科平和構築紛争予防講座(PCS)教授

